



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産廃処分の委託契約締結を行うとともに、分別処分の徹底を行っている。廃棄物が少ない場合は、弊社仮置き場にて分別保管を行い、適切な処分・リサイクルに取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		照明器具は、仮設を含めLED照明に取替えている。ガソリン等の燃料消費を抑えるため、効率的な移動に取り組んでいる。 【予定】2025年7月までに簡易計算シートを活用し、エネルギーの使用量を把握する。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		倉庫屋根を活用し、太陽光発電を行っている。 【予定】2025年7月までに簡易計算シートを活用し、CO2排出量を把握する。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		自然素材を活用し、循環型社会を目指している。使用する木材も輸入材ではなく地域産材を利用し、輸送エネルギー削減に取り組んでいる。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		自社倉庫・仮置き場を活用し、余剰材の削減・再利用に努めている。再生利用を進める為、仮置き場にて分別を徹底しリサイクル業者との連携に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		自社関連で「27万㎡」程度の森林を所有し、その一部は保安林認定を受け水資源確保に取り組んでいる。定期的な保全活動を森林組合等に依頼し、継続性を保っている。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		グリーン購入、リサイクル商品購入に努めている。屋根野地板・押入れ等の内部仕上材は、環境に配慮した製品(杉無垢材)を基本とし、製造・運搬エネルギー削減を含め、地域産材活用に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●			設計において、高効率給湯機・断熱浴槽等利用を基本とし、高断熱化に取り組んでいる。自社においては、倉庫屋根を活用した太陽光発電を、4棟で行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●			地域森林資源の活用を自社の基本方針とし、杉・桧AD材活用を重視とした設計施工を行っている。自社関連で「27万㎡」程度の森林を所有しており、持続的な森林利用の取組みを推進している。					6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●			自社関連で「27万㎡」程度の森林を所有し、その一部は保安林認定を受け水資源確保に取り組んでいる。定期的な保全活動を森林組合等に依頼し、継続性を保っている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2			13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

